

のこ博物館だより

公益財団法人 亀陽文庫
能古博物館
<https://nokonoshima-museum.or.jp>
能古博物館 検索

第84号 ▶ 2020年(令和2年)

3月

発行: 公益財団法人 亀陽文庫 能古博物館 | TEL 092-883-2887 FAX 092-883-2881
所在地: 〒819-0012 福岡市西区能古522-2 | E-mail info@nokonoshima-museum.or.jp



海外からの観光客を乗せ 能古島沖の博多湾口を通過する大型クルーズ船
『COSTA SERENA』コスタ・セレーナ 114,261t イタリア船籍 2019年5月 森下東樹撮影

30周年記念誌に大きな反響

編集部に届いた便り

「驚いたのは、そう言つては失礼かと思いますが、能古という日本の西端の小さな島に、古代から現代までの、まさに日本の歴史に刻まれた著名な事件、事柄が凝縮されたように詰まっている事實でした」
(東京都・80歳代・男)

「表紙のデザインも素敵ですし、中も写真やイラストが多く見やすく、能古博物館の魅力が詰まつた1冊ですね。大事にさせて頂きます」
(福岡市・40歳代・女)

「海外引き揚げの一文は、大連から母、姉二人と布団袋を引きずつて引き揚げた小生には胸に迫るものがあり、感謝、感激です」
(埼玉県・70歳代・男)

★ ★
「引揚げの記録の中で、徵用などによって朝鮮半島や中国から來ていた50万人の人たちの『もう一つの引揚げ』があつたことを取り上げた西日本新聞記者の寄稿は、的を射たものでしたね。」
(名古屋市・70歳代・男)

「博多湾物語でただ一つ、引揚げの記憶掲載ページに、筑紫野市二日市保養所での引揚げ女性の無残な被害と治療についての記述がなかったことが、気にかかりました。性被害女性の実態は、引揚者歴史として欠かせないのでないかと 思います」
(福岡市・80歳代・男)

創館30周年記念行事

福岡城下の 旧唐津街道を歩く・ 益軒、南冥の旧跡訪問



大濠公園に集まる

能古博物館は昨年11月9日、創館30周年記念行事として「福岡藩の二大儒学者貝原益軒と龜井南冥—旧唐津街道歴史散歩と講話」を開催。福岡市中央区の旧唐津街道を探索し、研究者の話を聞いた。



貝原益軒の屋敷跡



中野正剛の生家跡

秋晴れの一日、公募で集まつた参加者は43人。地元のシニアガイドや「西区よかとこ案内人」の皆さん協力で、ふだんは足を運ぶ機会が少ない郷土史の現場を、約2・5キロにわたつて歩いた。

午前10時半。大濠公園の簡易保険局ビルそばに集まり、まず向かったのは貝原益軒の屋敷跡。当時は中、高級の武家屋敷が立ち並び、荒戸山(現在の西公園)に近く、麓には福岡藩の要港「波戸」があった。大正・昭和の政治家中野正剛の生家跡を訪ねた後、お目当ての旧唐津街道へ。今でこそ昭和通りや明治通りの裏道になつてゐるが、古代から江戸時代を経て現代に至るまで、時には軍勢が行き交い、ふだんは人々の生活道路として、重要な役割

を担つてきた由緒ある街道だ。

唐人町商店街の東側信号を渡つて商店街のアーケードへ。昔はこの手前に、福岡城下の西側を固める「黒門」があつた。また大濠の池と博多湾をつなぐ小河川・黒門川が流れ、うなぎが獲れた。明治になつて門は消え、昭和の中頃、川は暗渠になり道路化した。橋のたもとの老舗「黒門飴」は2年前に店を閉め、跡地には12階建てのマンションが最近、完成した。アーケードを西へ。龜井南冥が指導した福岡藩の西洋問所「甘棠館」跡はビルになり、飲食店や商店、甘棠館劇場が1、2階に入つてゐる。付近で一休み。ついで商店街の突き当たりで左折し、地下鉄「唐人町」駅付近に出る。明治通りを横断。

西へ足を伸ばす。ここでも小河川が道路に化していた。
旧梁川。架かっていた橋は暗渠の下に。

かつて橋から西側の地行、鳥飼一帯は、主に福岡藩の下級武士の居住地だった。一部は福岡大空襲で焼けた。鳥飼神社の境内。戦後建立された演説姿の大きな中野正剛像が目をひく。

益軒の墓所は金龍寺に、南冥一族の墓所は浄満寺内にあつた。両寺は明治通りの今川橋バス停をはさむ形で向き合う。一行はゴールの浄満寺で持参の昼食をとつた。



旧唐津街道の黒門跡を過ぎ唐人町へ



亀井南冥一族の墓所（浄満寺）



河村敬一さん

最後に西南学院大学非常勤講師の河村敬一さん（1952年生まれ）が「福岡藩における貝原益軒と亀井南冥」のタイトルで語り、この日を締めくくつた。河村さんは福岡市立福翔高校の元教諭。「貝原益軒」「亀井南冥小伝」の著書がある。

唐津街道

全長約130キロ。現在の国道3号と202号にほぼ平行する。古代は大陸の文化が伝わる道で、元寇に立ち向かった武士たちが行軍した。豊臣秀吉の朝鮮出兵や福岡藩、唐津藩の参勤交代で使われた。江戸時代の13宿場は北から若松、芦屋、赤間、畦町、青柳、箱崎、博多、福岡、姪浜、今宿、前原、深江、浜崎にあつた。

メモ

◆貝原益軒（1630～1714）

江戸時代前・中期の高名な儒学者、博物学者、庶民教育家。『筑前国続風土記』、『大和本草』、『養生訓』など著書多数。40歳を過ぎて荒戸4番町（現在の荒戸1丁目11）の東端に福岡藩から屋敷地を賜った。

◆亀井南冥（1743～1814）

江戸時代後期の儒学者で、福岡藩が創設した西洋問所「甘棠館」の祭主（学長）。志賀島で発見された金印の鑑定で名を成す。幕府の寛政異学の禁の影響で失脚しながら『論語語田』全10巻を完成。自宅の失火で死去した。

◆中野正剛（1886～1944）

旧制修猷館中学、早稲田大学卒。ジャーナリストや衆議院議員として活躍。太平洋戦争中に当時の首相東條英機と対立。倒閣運動をしたとして検挙される。釈放後自宅で割腹自決。遺書には「俺は日本を見ながら成仏する。悲しんで下さるな」とあった。



30周年記念誌 「博多湾物語」 読者の反響(続き)

「能古島を中心に博多湾での防人や元寇にまつわる歴史、筥崎宮にある扁額「敵国降伏」の真の意味、セーリングに適した素晴らしい環境の海であることなどが、生き生きと描かれており、一気に読み進めました。サザエさんの誕生秘話にはくすりと笑ったり、懐かしい想いで涙が出そうになりました。民間の小さな博物館だからこそ、深い郷土愛にあふれる、30周年にふさわしい記念誌が出来たのではないかでしようか。若い世代向けに、内容を電子書籍化することも今後の視野に入れられても良いかと思います。感動の記念誌を有難うございました」

(福岡県・50歳代・女)

「普通、記念誌と言えば、大方が祝儀めいた自己贊美の文章で終わりがちですが、本当に読み応えのある郷土の、そして日本の物語でした。今更ながら、博多湾の勉強になりました」

(東京都・80歳代・男)

「このような本は極めて貴重なもので、関東や関西のヨット界の重鎮たちに見せたく、4,5冊預けないでどうか。もちろん費用は負担いたします」

(久留米市・80歳代・男)

「森田拳次さんのイラストがとても素敵です。資料として大切にいたします。」

(長崎市・60歳代・男)

「今後、博多を紹介する時はこの30年誌を見せることにいたしました」

(北九州市・80歳代・男)

●反響の内訳 葉書41通、封書11通、メール9通の計61通を数え、電話も多数頂いた。因みに30周年記念誌「博多湾物語」の取材・制作に要した日数は約1年間。

●約3千部贈呈 発行部数三千五百部のうち約三千部を県内外の主要な博物館をはじめマスコミ、公民館、学校、館の協賛法人、同個人、友の会の会員、館の母体である原土井病院の職員らに贈呈。残部を館の保存用及び実費頒布用とした。



反響続々 感想の便り



30周年企画 写真展 「徳島の阿波船と 以西底引き網漁業」

昨年秋、30周年企画の写真展『徳島の阿波船と以西底引き網漁業』を別館1階で開催した。戦中、戦後の厳しい時代に福岡市民の食卓を支えた『阿波船(あわせん)』。しかし、その65年間を知る市民は多くない。

福岡漁港を根拠地に最盛時は2百隻以上に及んだ以西底引き網漁業の在りし日の姿を、徳島県立博物館、(株)トクスイなどの協力を得て展示した。

東シナ海における過酷な操業や徳島弁が飛び交う漁師町の暮らしを伝える一方で、韓国、中国による日本漁船捕獲などの時代背景も取り上げた。

お知らせ

記念誌はA4版44ページ1冊750円。購入ご希望の方は、能古博物館（電話092-883-2887）か、博多養生処=福岡市博多区下川端町3-1博多リバインモール地下2階（電話092-282-6001）でお求めいただけます。郵送の場合は別に送料250円が必要です。

「牛島龍介氏の挑戦や亀井南冥について大変興味深く読みました」（東京都・50歳代・男）



「卒業した当仁小校区を手前に博多湾の大パノラマという冒頭の見開きは、お宝になりそうです。」（福岡市・70歳代・男）



「能古島は、対岸の今宿に住む私のジャリの頃は、残島と書いていたよう思う。中学の夏休みはキャンプをしたのを思い出す。その際は決まって、泳いで島を一周した」（福岡市・70歳代・男）



「能古島を根幹に、福岡市の社会文化の苦難発

展の史書の感があり、市政だよりに連載されたらと、思います。まるで一流の交響曲の演奏を聞くような時間が過ごせました」（福岡市・80歳代・男）



「よくぞここまで調べ、まとめてと、感銘を受けながら丁寧に読ませていただきました。いまは友達に次々と読まれています」



（福岡市・80歳代・女）

「福岡市の変貌ぶりについては、ニュースの映像などである程度は承知していましたが、空撮で見るとなおさらです」（東京都・80歳代・男）



「美麗な仕上がりに驚き。前よりも後を振り返ること多々の昨今。懐かしく読ませて頂いております」（糸島市・80歳代・男）

（福岡市・80歳代・男）

「博多がすべて詰まつたような上質の物語になっていますね」（東京都・80歳代・男）

（福岡市・60歳代・男）

「知らないことが多く勉強になります。能古島に赴いて博物館で知識を広めたいと思います。」

「博多湾の写真は見事なものですね。20、21頁のMAPにもしばらく釘づけになりました」（福岡市・80歳代・女）



寄稿

アフガニスタン復興と ペシャワール会への支援

ペシャワール会副会長 原 祐一 (医療法人原土井病院 副理事長)



2019年12月4日、パキスタン・アフガニスタンで30年以上にわたり医療活動を続けてこられた医師の中村哲先生が、アフガニスタン東部・ジャララバード市内で何者かの銃撃を受けて負傷され、搬送中に亡くなられました。

中村先生は1946年福岡県生まれ。九州大学医学部卒業後、1984年パキスタンのペシャワールに赴任、ハンセン病コントロール計画を柱にした貧困層の診療を開始されました。1986年からはアフガン難民のための事業を設立し、1998年には基幹病院であるPMS基地病院をパキスタンのペシャワールに建設。以後、アフガニスタン・パキスタン両国において地域医療に尽力されました。

2000年以降は、アフガニスタンを襲った大干ばつから人々の命を救うため、1600もの井戸を掘り、2002年には『緑の大地計画』を開始、長期的なアフガニスタンの復興計画に基づき、「生きておれ。病はあとで治す」というスローガンの下、灌漑事業に着手されました。

折しもアフガニスタンは干ばつに加え、9・11テロ後の米軍による空爆にも遭い、中村先生は医療支援に加えて食料支援にも力を注がれました。以降、灌漑計画を着実に現実のものとし、戦乱と干ばつで荒廃した大

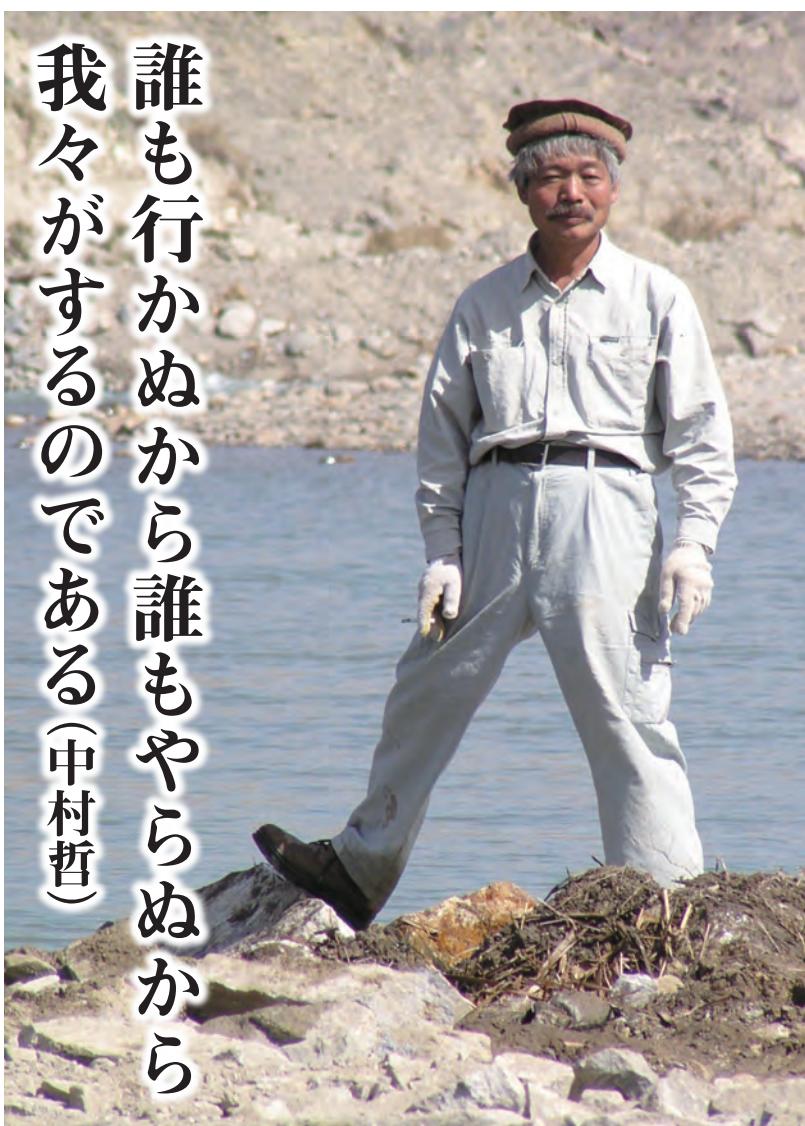
地を次々と緑の農地に変えていかれました。この活動の結果、蘇った緑の農地は、1万6500ヘクタール、この地域で生きていくようになつた人々は65万人にも及びます。

中村先生の献身的な活動は国際的にも高く評価され、2003年にはアジアにおけるノーベル平和賞ともいわれるラモン・マグサイサイ賞平和・国際理解部門受賞。現地の人々からも「ドクター・サーブ」と呼ばれ、広く慕われ、2019年10月7日、

アフガニスタンのガニ大統領は、中村先生にアフガニスタン・イスラム共和国市民証を手ずから授与されました。

その際、ガニ大統領は「緑の大地計画(英文)」を何度も熟読され、「これがアフガニスタン復興の鍵だと思った」と話されたと聞いております。

更に、2019年11月1日の日本医師会設立72周年記念式典並びに医学大会の際に、「医療の国際協力に貢献著しい貢献者」として、日本医師会最高優功賞を受賞されました。

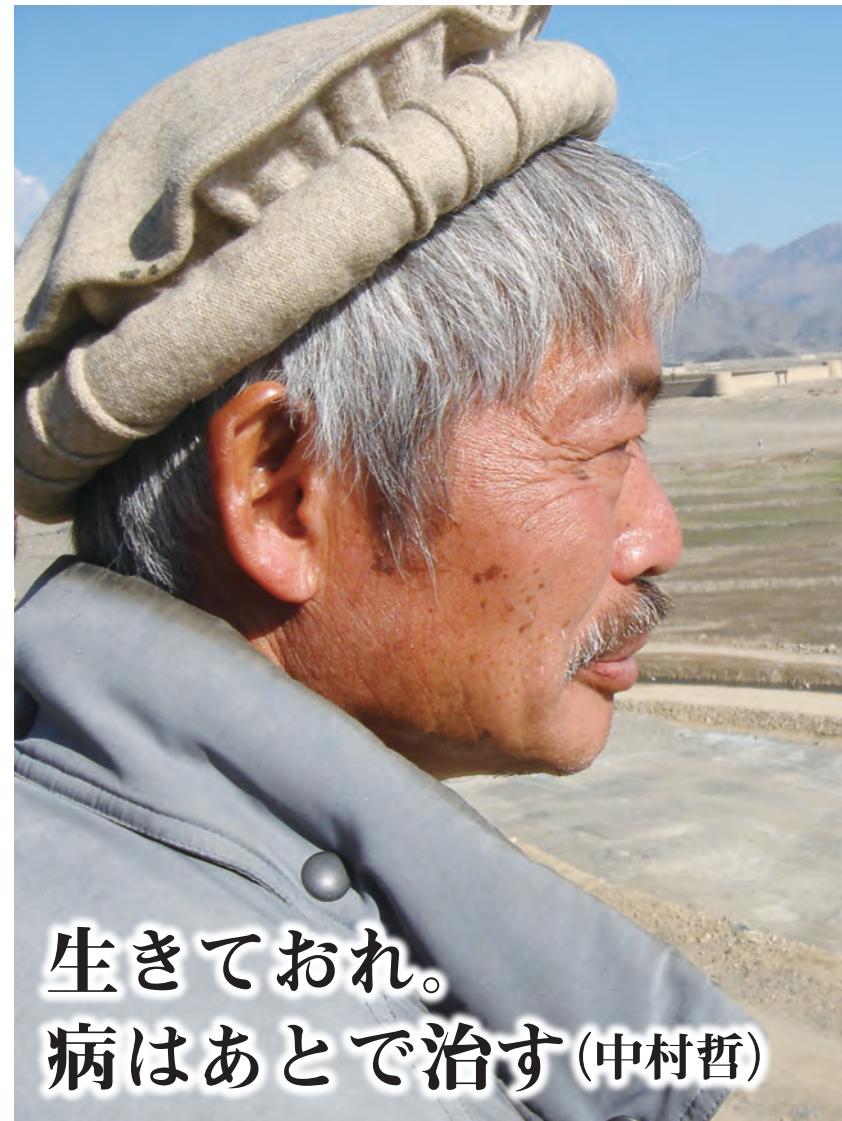


中村先生が凶弾に倒れられたのは、こうしてペシャワール会の活動が更に大きな発展を遂げようとしていた、その矢先の出来事であり、現地スタッフ並びに日本の事務局スタッフ、そして今まで中村先生の活動を支援してきた私達ペシャワール会員も、「中村哲」というあまりにも大きな支えを失った悲しみに打ちひしがれました。

12月11日、中村先生の告別式が福岡市内で行われ、上皇陛下・上皇后陛下ご夫妻を始めとして、各界から

多数のメッセージが寄せられました。
ペシャワール会長の村上優先生は、悲しみの中、「ペシャワール会は中村先生の意志を守り、事業継続に全力を挙げます」と決意を述べられました。

私の記憶にある中村先生は、寡黙で多くを語らず、「目の前にいる苦しむ人達に手を差し伸べる」という医師の原点を実践され、私達、後続の医師達に最高の見本を示して下さいま



一方、「ペシャワールにて」「ダラエ・ヌールへの道」「医者、用水路を拓く」など、ご自身の活動を記した多くの著書を遺されており、著書の中ではこれがあの寡黙な中村先生が書かれたものかと驚くほど、命の不平等や世の不条理について熱く語っておられます。

ペシャワール会は、これからも中村先生のご意志を受け継ぎ、アフガニスタンでの事業を続けていきます。中村先生は今でも、私達の心の中に生きておられ、決して消え去ることはないでしょう。

中村先生の存在は私達日本人として、また医師としても誇りです。今まで、中村先生のアフガニスタン・パキスタンでの活動について、あまり見聞きする機会のなかつた方も多くおられる方存じます。この記事を機会に中村先生の活動に興味を持つて下さった方がおられましたら、アフガニスタンでの命の危機にさらされている人々を一人でも救うために、ぜひペシャワール会の会員になつて下さい。

最後に、私の心に残っている中村先生の言葉を記します。

「生きておれ。病はあとで治す」「誰も行かぬから誰もやらぬから我々がするのである」

「マルワリード用水路」は、逃げ場を失った多くの人々に希望を与え続けるだろう。私もその一人である。アフガニスタンは忘れ去られたが、私達の共有した苦労と喜びの結晶は人々の命の営みが続く限り記憶されるだろう。これは人間の仕事である」

(了)

ペシャワール会連絡先

〒810-0003 福岡市中央区春吉1-16-8 ベガ天神南601
電話:092-731-2372/Fax:092-731-2373

入館者数 長期低落傾向続く

'19年度、千三百人達成困難か

2千5百人を超えた

2015年度(平成27年度)
をピークに、入館者数の長期
低落に歯止めがかからない。

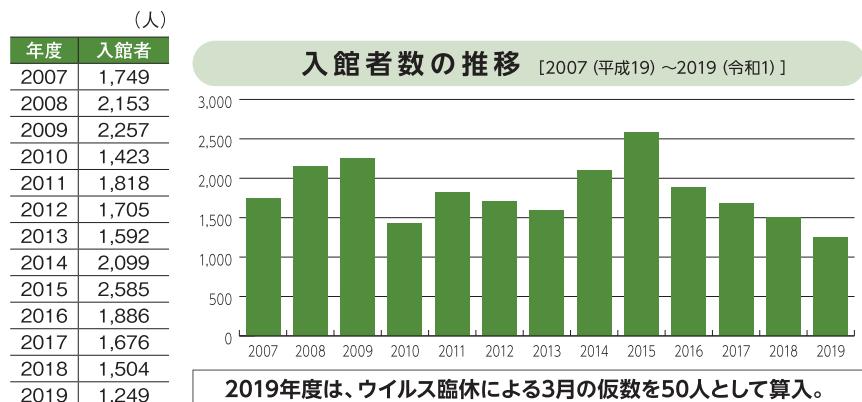
2019年度(令和元年度)
は2010年(平成22年度)
以来9年度ぶりの千五百人割
れが確実。ウイルス臨休の影
響もあり、千三百人ライン以
下に落ち込みそうだ。これは
2008年度(平成20年度)
に展示内容を一新して以来、
最低の数字である。

月別の入館者数をみると、
6月～9月の落ち込みが激し
い。近年の記録的な猛暑の影
響が考えられる。

一方で、2千5百人を超
えた2015年度は猛暑を免
れ、書き入れ時の5、10月の天
候も良かった。特別展「米倉斎
加年遺作展」も貢献した。

館固有の事情としては、週
末3日間と祝祭日のみの開

館、知名度不足などが足がせ
になつており、人気が高い常設
展示「海外引揚げの記憶」も
体験者が高齢化、死亡し、若い
世代へのアピールが宿題になつ



また、「トイレを貸して」と
館に駆け込んでくる海外から
の観光客が少なぬが、創
館後30年を経て、トイレをは
じめ施設の老朽化対策も避け
て通れない課題だろう。

まず毎日新聞は9月27日付けの夕刊
に一面トップの扱い。朝刊(11月20日付
け)にも転載された。朝日新聞は福岡版
(12月3日付け)でいずれも4段扱い。テ
レビではRKB毎日放送が夕方のニュース
番組「今日感ニュース」(8月21日)で
放映した。一連の報道で記念誌の購入
希望が相次いだ。

新聞各紙、大きく紹介

新聞各紙、大きく紹介

主なグループ来館
(2018年11月～2020年3月)

◆2018年
▼[11月]5日(月)福岡インターナショナルスクール小学生25名、23日(金)九大農学部5名、29日(木)フラメンコワーカーショップ7名

◆2019年
▼[3月]24日(日)日田市咸宜園町内9名、光円句会26名、29日(金)原土井病院5名、31日(日)元気100俱楽部30名
▼[5月]6日(月)原土井病院あおば会38名、30日(木)福岡市内老人クラブ15名
▼[7月]7日(日)東筑高校OB会4名、13日(土)九大共創学部5名、14日(日)西区まるごと博物館推進会34名、19日(金)福岡市觀光コンベンション部4名、26日(日)能古小学校新任教諭ほか7名、28日(日)福岡銀行、西日本シティ銀行青年グループ22名
▼[9月]16日(月・祝)知的障害児を抱える家族グループ16名、20日(金)東区東箱崎健康づくりサークル20名
▼[10月]9日(水)西区よかとこ案内人(あこめグループ)33名、21日(月)能古小中学校小学校2年生19名
▼[11月]4日(月・振休)ふくや研修生17名、9日(土)九大農学部6名

協賛会員の出光豊さん死去
能古博物館の個人協賛会員出光豊さんは昨年11月11日、病気のため亡くなられた。享年89歳。(株)新出光の元社長、現相談役。創館当時から物心両面にわたって館を支援していただいた。ご冥福をお祈りします。

(能古博物館役職員一同)

よつこで博物館へ



凡例

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| バスコース (能古学校前バス停から徒歩約4分) | 名所・旧跡 |
| 徒歩コース (渡船場から徒歩約15分) | お食事、 みやげ物店など |
| 館内散策路 | 博物館案内板 |
| | バス停 |

開館日 / 毎週 金曜・土曜・日曜と祝日

5月、10月は全日開館

※団体の場合は休館日にかかわらずご相談ください

開館時間 / 10:00~17:00(入館16:30まで)

入館料 / 大人400円・高校生以下無料

※団体20名以上2割引き

(注)冬季(12月下旬~2月下旬)は、展示物入れ替えなどで長期休館を原則としています。

御用の場合は事前にお問い合わせ願います。

渡船場からアイランドパークへの西鉄バス時刻表(2020年3月現在) ※博物館へは「能古学校前」で下車して下さい。

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 渡船場前発 アイランドパーク行 | 平 日 | 07:57 | 08:48 | 09:45 | 10:30 | 11:30 | 12:55 | 13:35 | 14:35 | 15:35 | 16:45 | 17:55 |
| | 土 曜日 | 07:57 | 08:48 | 09:45 | 10:30 | 11:30 | 12:55 | 13:35 | 14:35 | 15:35 | 16:45 | |
| | 日・祝日 | 07:57 | 08:48 | 09:45 | 10:30 | 11:30 | 12:55 | 13:35 | 14:35 | 15:35 | 16:45 | 17:55 |
| アイランドパーク発 渡船場前行 | 平 日 | 08:23 | 09:20 | 10:03 | 11:13 | 12:28 | 13:18 | 14:18 | 15:18 | 16:18 | 17:28 | |
| | 土 曜日 | 08:23 | 09:20 | 10:03 | 11:13 | 12:28 | 13:18 | 14:18 | 15:18 | 16:18 | 17:28 | |
| | 日・祝日 | 08:23 | 09:20 | 10:03 | 11:13 | 12:28 | 13:18 | 14:18 | 15:18 | 16:18 | 17:28 | 18:32 |

* 繁忙期は臨時便が運行されます。

姪浜旅客待合所
までのアクセス

西鉄バス

- JR博多駅より 博多口正面Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」: 約50分
- 天神より 三越前1Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」: 約30分

市営地下鉄:「姪浜駅」下車乗り継ぎ

- 西鉄バス姪浜駅 北口
98番「のこ渡船場行き」: 約12~20分
- タクシー: 約8分

市営渡船(フェリー)

- 姪浜ー能古島間: 約10分

お問い合わせ

姪浜旅客待合所
TEL 092-881-8709
能古旅客待合所
TEL 092-881-0900

* 繁忙期はフェリー臨時便が運航され、島内バスの臨時便と接続します。

能古・姪浜航路 時刻表

| 能古 発 | 8 | 10:00 | 16 | 17:30 |
|----------|----|-------|-----------|-------|
| 1 ◎05:00 | 9 | 11:00 | 17 | 18:00 |
| 2 06:00 | 10 | 12:00 | 18 | 18:30 |
| 3 06:30 | 11 | 13:00 | 19 | 19:30 |
| 4 07:00 | 12 | 14:00 | 20 | 20:15 |
| 5 07:30 | 13 | 15:00 | 21 | 20:45 |
| 6 08:00 | 14 | 16:00 | 22 | 21:45 |
| 7 09:00 | 15 | 17:00 | 23 ◎22:45 | |

| 姪の浜 発 | 8 | 10:15 | 16 | 17:45 |
|----------|----|-------|-----------|-------|
| 1 ◎05:15 | 9 | 11:15 | 17 | 18:15 |
| 2 06:15 | 10 | 12:15 | 18 | 18:45 |
| 3 06:45 | 11 | 13:15 | 19 | 19:45 |
| 4 07:15 | 12 | 14:15 | 20 | 20:30 |
| 5 07:45 | 13 | 15:15 | 21 | 21:00 |
| 6 08:15 | 14 | 16:15 | 22 | 22:00 |
| 7 09:15 | 15 | 17:15 | 23 ◎23:00 | |

◎印は日祝日運休 2020年3月現在